

大学情報基盤の変革

オンプレミス ☐

クラウド ☁

ハイブリッド 12.1 FRI

13:00-13:30 受付

13:30-13:35 開催挨拶 東京農工大学理事（学術・研究担当）教授 荻原 勲

13:35-13:40 趣旨説明 東京農工大学総合情報メディアセンター 教授 萩原 洋一

13:40-14:20 招待講演 ☁ 広島大学におけるクラウド情報基盤の活用実践例

広島大学副学長（情報担当）教授 相原 玲二

14:20-15:00 招待講演 大学情報基盤とクラウドの相性って本当に良いの？ ☐

名古屋工業大学情報基盤センター長 教授 松尾 啓志

15:00-15:10 休憩 ☐

15:10-15:30 招待講演 それでもやっぱりオンプレが好き

電気通信大学情報基盤センター 准教授 土屋 英亮

15:30-15:50 講演 変わるためのクラウド選択 ☁

東京農工大学総合情報メディアセンター 講師 櫻田 武嗣

15:55-17:00 講演者によるパネルディスカッション 大学の情報基盤はどうあるべきか？

☁ コーディネーター (株)mokha 代表取締役 安東 孝二

17:00-17:05 閉会挨拶 東京農工大学総合情報メディアセンター長 教授 村田 章

17:30-19:30 情報交換会 (エリプス3階) ☐

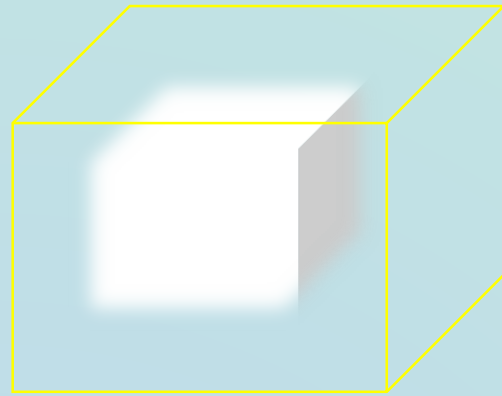
開催場所 ■ 東京農工大学 小金井キャンパス (JR中央線東小金井駅)

140周年記念会館 (エリプス) 3階多目的ホール

参加費 ■ 無料 (情報交換会/会費3000円) ★シンポジウム終了後、情報交換会を予定しております。

お申込 ■ <http://sympo2017.imc.med.tuat.ac.jp/>

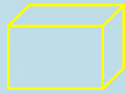
お問合せ ■ 総合情報メディアセンター staff @ml.tuat.ac.jp



大学の教育研究基盤システムを担当する情報系センターにおいては、システムを構築する環境が多様化しています。

たとえば、オンプレミスやクラウド、また、それらのハイブリットなどが挙げられます。このような状況の中で、各大学の特色や事情に応じた課題があり、限られた予算と人員の中で、最大限の努力をなされているかと存じます。

本シンポジウムでは、主にシステム構築の観点から、運用の自動化などのサービス提供におけるコストの低減、さらに今後の情報系センターのあり方を考える機会にしたいと思います。



前半は、西日本地区から、事務情報基盤も含めてクラウド環境に移行された広島大学の相原先生、オンプレミス環境での情報基盤構築の先頭を走る名古屋工業大学の松尾先生に、それぞれの構築環境における組織管理者の立場からご講演頂きます。

後半は、東日本地区から、情報理工学分野を特色とする電気通信大学の土屋先生に現状のオンプレミス情報基盤システムと将来の方針を講演頂き、次に、本学の櫻田から全面的にクラウド環境に移行した背景を報告します。

パネルディスカッションでは、ご講演内容を基に今後の情報系センターの在り方を議論して頂きます。

本シンポジウムは、これからの情報基盤の姿をさまざまな視点から提供できると考えております。

多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

